

必死剣 鳥刺し (2010)

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 114分
初公開日 2010/07/10
公開情報 東映
映倫 G

【キャッチコピー】

死ぬことさえ、許されない。
ならば、運命を斬り開くまで。

【解説】

藤沢周平の“隠し剣”シリーズの中でも傑作の呼び声高い人気の一編を、「今度は愛妻家」の豊川悦司主演で映画化。一度は死を覚悟しながらも一人の女の存在によって生への執着を取り戻した男が、剣客ゆえに不条理な藩の政道に翻弄され過酷な運命を辿る姿を、静謐かつ丁寧な筆致とクライマックスの壮絶な立ち回りシーンで描き出していく。共演に「ジョゼと虎と魚たち」の池脇千鶴、「チーム・バチスタの栄光」の吉川晃司。監督は「愛を乞うひと」「OUT」の平山秀幸。

江戸時代。東北の海坂藩では、藩主・右京太夫の愛妾・連子が藩政に口を出し、善からぬ影響が広がっていた。しかし、誰もその暴走を止めることが出来ずにいた。最愛の妻・睦江を病で亡くしたばかりの物頭・兼見三左エ門は、死に場所を求めるかのごとく独断で連子の刺殺を敢行する。ところが、極刑を期待していた三左エ門に下された処分は意外にも閉門という寛大なものだった。しかも1年後には近習頭取として役職に復帰、藩主の傍に仕えることに。腑に落ちず、迷い苦しむ三左エ門だったが、彼の身の回りを世話する亡妻の姪・里尾の健気な存在が、心の拠り所となっていく。そんなある日、中老・津田民部からある藩命が下る。それは、剣の達人でもある三左エ門が独自に編み出した必死必勝の剣“鳥刺し”で、殿に敵対する剣豪・帯屋隼人正を討てというものだったのだが…。

【クレジット】

監督	平山秀幸		
原作	藤沢周平		『必死剣 鳥刺し』（文春文庫刊『隠し剣 孤影抄』所収）
脚本	伊藤秀裕	Hidehiro Ito	
	江良至		
撮影	石井浩一		
美術	中澤克巳		
編集	洲崎千恵子		
音楽	EDISON		
主題歌	alan	alan	『風に向かう花』
照明	椎原教貴		
録音	田中靖志		
殺陣指導	久世浩		
出演	豊川悦司	Etsushi Toyokawa	兼見三左エ門
	池脇千鶴		里尾

吉川晃司	帯屋隼人正
戸田菜穂	睦江
村上淳	右京太夫
関めぐみ	連子
山田キヌヲ	多恵
矢島健一	矢部孫千代
油井昌由樹	大場兵部
つまみ枝豆	福井
俊藤光利	光岡
村杉蟬之介	山内
瀧川鯉昇	安西直弥
田中聡元	権蔵
石山雄大	茂吉
生津徹	常吉
前田健	喜助
外波山文明	兼見清蔵
高橋和也	兼見伝一郎
福田転球	牧藤兵衛
木野花	はな
小日向文世	保科十内
岸部一徳	津田民部